

看護職員の負担軽減及び処遇改善の改善計画

当院では、患者様に質の高いケアを提供する為に、職員の勤務環境改善に努めております。特に夜勤、交代勤務等厳しい環境にある、看護、介護職員等が健康で安心して働く事ができる環境づくりが、患者様の安全と健康を守ることと考えており、毎年看護職員の負担軽減及び処遇改善計画を立てております。

2025年度 看護職員の負担軽減及び処遇改善の取組み

●入浴介助に関わる職員の環境改善

西3病棟にシャワーバスを設置したが、専用ストレッチャーが1台のため、入浴に係る時間が長時間となっており、職員の負担が増大している。シャワーバス専用ストレッチャーを1台追加し、職員の負担軽減をおこなう。

●腰痛対策(手動ベッドの廃止)

手動ベッド操作時に中腰及びしゃがむ姿勢になるため、職員の腰への負担が大きい。現在使用している56台の手動ベッドを、昨年に引き続き、定期的に電動ベッドへ入れ替えていく。また、衛生委員会にて院内ラウンドを実施し、電動ベッドへの交換状況をはあくしていく。

●インカム導入(西棟病棟)

西棟は構造上、動線が長いいため、情報共有の際に時間と労力を要し、職員の負担が大きい。各病棟内にインカムの中継器を設置する。情報共有をおこなう際、インカムを使用することで、負担の軽減をはかる。

2025年4月1日
みどり病院 衛生委員会